

琉球大学教育学部

教育振興会だより

2019 2月
(平成31年)
第30号〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
Email : kyoikusinkokai@yahoo.co.jp
TEL : 098-895-8312

発行：琉球大学教育学部教育振興会 会長 上原 昌憲 編集：教育振興会

教員就職をめぐる状況あれこれ

手許にある今後6年間の沖縄県教員の定年退職見込者数は、小学校で130前後、中学校は80前後で推移し、いずれも本学部の小学校教育コースおよび中学校教育コースの入学定員を概ね上回っています。それは潜在的な教員需要とみなすことができます。

たしかに、年齢階級別の将来人口推計（国立社会保障・人口問題研究所のデータ）では、全国的な動向と比較すると沖縄県は軽微であるとはいえ、子ども（15才未満）の数は減少していくので、学校数・学級数・正規教員数の減少の可能性を勘案して、定年退職見込者数を割り引いて教員需要を想定せざるをえません。それでも、沖縄県は今後とも小・中の教員需要が本学部の入学定員を上回る地域であることに変わりはありません。

ただ、沖縄県の教員採用試験の受験者は、現役生より既卒者が圧倒的に多いという特徴があります。2018（平成30）年度採用のための試験では、小学校教員採用試験の受験者は現役生236に対して既卒者は927でした。中学校教員採用試験の受験者の場合は、現役生160に対して既卒者が882でした。いずれも受験者の半分以上は県外大学を卒業（予定者を含む）した者です。教員就職をめぐるのは、本学部出身者、本学の他学部出身者、県内の他大学等の出身者、そして県外

大学等の出身者とが入り交じって、すさまじい過当競争の状況が続いていることとなります。

本学部の場合、近年では現役生の小学校教員採用試験への受験者および合格者が増大する傾向にあります。一次合格者のうち二次試験で脱落するケースも少なからずありますが、現役生の場合は受験者のうち65%ほどが合格しています（中学校の場合は30%ほど）。ただ、現役生（卒業予定者）のうち受験するのが6割から7割に留まっていることと、既卒者の合格率が低いことが影響して、沖縄県教員に占める本学部出身者の占有率はなかなか上昇しません。

本学部としては、現役生の合格者増大に向けて認定試験や教採セミナーなどをよりいっそう充実させていくと同時に、既卒者も含めて採用試験（二次試験を含む）対策を強化することによって、本学部出身者の占有率を高めていきたいと考えております。就職対策には今までも教育振興会の支援を受けてきましたが、今後ともご支援をお願い致します。

教育学部長
高良 倉成

平成30年度 事業計画



1. 就職対策関係

- (1) 就職状況調査
- (2) 教員候補者選考試験説明会の実施
- (3) 教員候補者選考試験対策資料の整備
- (4) 教員候補者選考試験対策セミナーの開催(年2回)
- (5) 認定試験の実施
- (6) 日本人学校等学校採用教員希望者説明会
- (7) 模擬試験の実施

- (8) 教員候補者選考試験対策強化費・他

2. 福利厚生関係

- (1) 教育振興会だより第30号発行
- (2) 学生教育研究災害傷害保険援助
- (3) 振興会ニュースレターの発行

3. 学部援助

- ・学部に関わる諸会議及び学部行事並びに運営等に対する援助

日本人学校

日本人学校の募集は、学校別で赴任希望校を選択できる第1期募集(7月募集)と学校一括でどの学校でも赴任することを前提とする第2期募集(11月募集)の二通りあります。



今回講師をしていただいた、兼城さんを始め、多くの方が帰国後教員採用試験に合格して、教員として働いています。

平成29年度はシンガポール日本人幼稚園、ホーチミン日本人学校やシラチャ日本人学校への採用がありました。



教育学部卒業生でバンコク日本人学校にて教員をしていた兼城さんの体験談



講師：海外子女教育振興財団の池田さん



平成30年度 教育振興会 役員名簿

役職	氏名	学生所属
会長	上原 昌憲	学校教育教員養成課程
副会長	屋良 京子	学校教育教員養成課程
//	古我知 みゆき	学校教育教員養成課程
理事	翁長 明美	学校教育教員養成課程
//	金城 明子	学校教育教員養成課程
//	金城 文子	学校教育教員養成課程
//	末吉 優子	学校教育教員養成課程
	作山 泰代	学校教育教員養成課程
	河上 久恵	学校教育教員養成課程
会計監査員	玉城 千ヨ	学校教育教員養成課程
//	大庭 奈津美	学校教育教員養成課程
顧問	高良 倉成	教育学部長
幹事	許田 正勝	教育学部事務長
書記	赤嶺 敦美	教育学部教育振興会書記

平成30年度 実施 公立学校教員候補者選考受験・合格状況(教育学部)

専修・ コース	受験者数							1次合格者数						2次・3次合格者数							
	学部生		院生		合計			学部生		院生		合計		学部生		院生		合計			
	県内	県外	県内	県外	県内	県外	計	県内	県外	県内	県外	県内	県外	計	県内	県外	県内	県外	計		
教育実践	19	2			19	2	21	19	1			19	1	20	15	1			15	1	16
国語	5		1		6		6	3				3		3	3				3		3
社会	3	3			3	3	6														
数学	6				6		6	3				3		3	1				1		1
理科	2		1		3		3	2				2		2	2				2		2
音楽																					
美術																					
保健体育	1	3	2	1	3	4	7		2	1	1	1	3	4	1		1	1	2	1	3
技術	1	2 (1)	1		2	2	4	1	1 (1)	1		2	1	3	1		1		2		2
生活科学	2	3 (1)			2	3	5	1	2 (1)			1	2	3		1				1	1
英語	1	1			1	1	2	1	1			1	1	2	1				1		1
特別支援	8	4			8	4	12	6	1			6	1	7	4				4		4
教員養成課程合計	48	18	5	1	53	19	72	36	8	2	1	38	9	47	28	2	2	1	30	3	33
子ども地域	14	5 (1)			14	5	19	8	5 (1)			8	5	13	8	4 (1)			8	4	12
沖縄島嶼	5	1			5	1	6	3				3		3	3				3		3
自然環境	9	3			9	3	12	2				2		2	2				2		2
生涯健康	2				2		2														
心理臨床	1		1		2		2	1		1		2		2	1		1		2		2
生涯教育課程合計	31	9	1		32	9	41	14	5	1		15	5	20	14	4	1		15	4	19
教育学部合計	79	27	6	1	85	28	113	50	13	3	1	53	14	67	42	6	3	1	45	7	52
教職大学院			6		6		6														

()内数字は推薦

【小学校】**学部生**→県内 35名 県外 6名 **院生**→県内 1名

【中学校】**学部生**→県内 5名 **院生**→県内 2名 県外 1名

【高校】**学部生**→県内 1名 県外 1名(私立)

【合計】**学部生**→48名 **院生**4名



教員を目指す

皆さんへ

教員採用試験報告書

教育実践学専修 玉城 陽一朗

受験した県名：沖縄県・小学校



うがいと
の音が上
がったの

で、やるなら沖縄県の過去問を解くことをおすすめします。勉強会は一次試験の1ヶ月前まで行いました。そこからは自主学習の形をとり、自分の勉強する時間を確保するようにしました。

二次試験対策では、模擬授業や面接、小論文の練習をするために、4~5名ほどのグループを組んで勉強しました。教育実習でお世話になった理科の先生にお願いし、模擬授業の手本を見せてもらったり、大学の教授に模擬授業の試験官として参加してもらったりしました。また、先輩方にもお願いして、当時の面接でどのようなことを聞かれたのか、模擬授業はどのように練習していたのかなどを教えに来てもらいました。おすすめなのは、

【勉強のスケジュール】

勉強会メンバー12人で、それぞれの得意な教科で担当を振り分けた。

生活科や外国語などは学習指導要領から問題が出題されていたので担当を振り分けなかった。

スケジュールは、11月からはじまり、12月までは国語、算数、社会、理科等の配点の大きい科目を中心に週2回のペースでやっていた。

年が明けて、1月からは週に3回に増やし、音楽、図工、家庭科、体育などの教科もいれていった。1月からは指導要領の暗記テストを週に1回行い、4月の琉大で行われる認定試験にむけて行っていた。基本的に指導要領、教職教養、一般教養は各自で行うようにしていた。この勉強会とは別に沖縄県の施策を教

授から学ぶ勉強会を同じように週に1回行っていた。

4月からは週に5日勉強会を行いました。教職教養のテストの日や、週に1回歴代の過去問を解いたりしていました。時間通りに解く感覚を養うようにしました。過去問の学習指導要領が改訂され、解けない問題を省いて平成24年度のものまで解き、あとはメセナの模試や、他の勉強会が作成した自作模試などを解きました。他県の過去問も解いたりしたのですが、問題の傾向が異なり、グループのメンバーからやらないほ



合格者

からのメッセージ



大学のセミナーに参加することだと思います。一次試験前から二次試験対策のセミナーをやっているのですが、一次試験が大切だからと言わずに、二次試験の対策もできるような余裕をもって参加すると絶対に自分の力になります。専門の先生方が実技試験について丁寧に教えてくださいるので相談もしやすく、そこでできた関係性から、個人的にレッスンをお願いしてとても助けてもらいました。

【感想と後輩へのアドバイス】

教員採用試験の勉強や本番を振り返ってみると、やったらやった分ちゃんと結果が出るのが一次試験だったなと思いました。基本教員採用試験の勉強といたら一次試験のことだったので、周りがやっているけど、自分はあまりできていないなと落ち込んでしまい、他の人と比べてしまうことが多かったのですが、実際に試験

を受けると、学生って勉強する時間があるのだなと実感しました。私の周りでたくさん教採の勉強をしていた人たちほど上位で通っていたし、だいたい100位前後で合格していました。琉大にいるから焦ることもあると思いますが、自分がやっている勉強量は嘘をつかなかったです。一次で勉強したことが二次試験の模擬授業や、面接、小論文につながってくるのでそこをしっかりとやると二次試験にも高いモチベーションで臨むことができます。

後輩の皆さんには、合格した先輩からいろいろな勉強法や、使っていた参考書などを見せてもらったり、話を聞いたりしたほうがいいと思

います。自分にあった勉強法や参考書などがわかると勉強がとてもやりやすかったです。効率よく勉強するために、また、二次試験の実技の面で協力してもらい縦のつながりをたくさん活用していくことをお勧めします。私たちも聞いてくれたり、頼られたりするととても嬉しいので全力でアドバイスをします！教採の勉強はやりすぎると疲れたりモチベーションが下がったりするので、息抜きやゼミをやったりしながら上手に向き合うといいと思います。是非、来年合格できるように頑張ってください！！





おもしろい

Vol. 9

親に贈る米盛智恵子の
心がほぐれる癒し文字

親のみなさん、こんにち笑!!
日々、喜力アップしてますか。
いきなりですが、私、大切な
気づきがありました。

このコーナーを書かせて頂いて
九年目にしてです。
あっそうだ!!

『教育は **「強育」** だ!!』
強い心を育てるのが教育だ!!』と...

それは、これまでに描いてきた癒し文字
たちが気づかせてくれたのです。

『**「脳転嬉」** や **「愛(ほめ愛・認め愛・
許し愛...)**』 **「嬉与育」** **「自游」**

「笑極的」 **「快話」** **「楽者」**
「喜力」 たちが...

なんと、この癒し文字たちから
発せられたメッセージは、

今の難しい世の中を
笑って強く生き抜く

『**「新・強育法」** だったのです。
きつと、親のみなさんも

そう漢字でくれることで**笑!!**
『目ざすは **「強育」**』

気づけば**笑顔**』

あつ、いいカンジ
いいカンジ!!
では。

